



- ①よさを伸ばし合う子ども
- ②つながりを大切にする子ども
- ③自らとふるさとを拓く子ども



## 長編を閉じて余れる日永かな (2020年俳句大賞 準特選作品)

3月1日の日の入り時刻は、17時23分。日の入りが遅くなり、季節の移り変わりを感じます。超暖冬とはいえ、これから寒暖を繰り返しながら春に向かっていきます。様々なことに期待が膨らむ北国の春がやってきます。



## 6年生ありがとう集会

ありがとう、6年生の皆さん！  
5年生、企画・運営で大活躍!!

2月29日(木)、「6年生ありがとう集会」を行いました。5年生を中心に在校生が企画し、準備してきた集会です。

6年生から5年生へ委員会の引き継ぎの後、各学年からは6年生への感謝の気持ちを様々な形で表しました。1年生からは手作りのメダル、2年生からは招待状とダンス、3年生からはかんむりとメッセージカード、4年生からは似顔絵、5年生からは歌やダンスと寄せ書きがそれぞれ6年生に送られました。その後、6年生からも感謝のメッセージとダンスのお返しがありました。

感謝する方も感謝される方も優しい笑顔で、体育館が温かな雰囲気一杯になりました。とても素晴らしい時間でした。優しく頼もしかった6年生と過ごせるのは、あと10日です。



集会の運営は5年生担当



委員会の引き継ぎ



4年生から似顔絵のプレゼント



全校でのクイズ



6年生へのインタビュー



集会後の6年生

### 3月の主な行事

- 1日(金) ネームデー 地区児童会
- 自転車点検期間(～19日・6年15日)
- 5日(火) 卒業式全体練習Ⅰ
- 6日(水) 集金日
- 7日(木) 卒業式全体練習Ⅱ
- 11日(月) 振替休業日(卒業式)
- 12日(火) 卒業式式場準備Ⅰ
- 校内ピカピカ週間(～15日)



- 13日(水) 卒業式予行練習
- 15日(金) 卒業式式場準備Ⅱ
- 16日(土) 卒業証書授与式
- 18日(月) 照度検査
- 20日(水) 春分の日
- 21日(木) 修了式
- 22日(金) 春季休業日(～4/3)
- 28日(木) 離任式



# ご参加ありがとうございました

～令和5年度 学年末PTA～



1年



2年

2月22日(木)、学年末PTAを行いました。授業参観では、お子さんの1年間の成長を見ていただきました。どの学級も和やかな雰囲気です。2年生は、保護者の給食試食会を兼ね、佐藤紀美子栄養士による「栄養教室」を行いました。

今年度、様々なPTA活動がありましたが、保護者の皆様のご理解・ご協力のおかげで無事に終えることができそうです。来年度におきましても、充実した1年となるよう教育活動を行ってまいりますので、引き続き、よろしくお願いたします。



3年



4年



5年



6年

## 八峰町スポーツ文化栄誉賞受賞者

### 《小中学生奨励賞》

第21回東北学童軟式野球新人秋田県大会  
第3位 八峰グローリーズ

- |             |             |
|-------------|-------------|
| 日沼 友成さん(5年) | 菊地 大惺さん(3年) |
| 小林 青羽さん(5年) | 吉村 駿佑さん(3年) |
| 吉村 瞭佑さん(5年) | 石井 隼生さん(2年) |
| 須藤 碧恩さん(4年) | 岩城 陽太さん(2年) |
| 新岡 優陽さん(4年) | 小山 楓さん(2年)  |



## かもめ 読み聞かせ



2月27日(火)、「おはなしの会かもめ」の今年度最後の読み聞かせがありました。

1年生は、菊地初子さんによる「おひなさまになったにんぎょう」の読み聞かせでした。この絵本は、「カタシロ」と呼ばれるわら人形を川に流して災厄をはらう、という風習から転じたおひなさまのお話でした。

毎月1回の読み聞かせでしたが、読み聞かせを通して絵本の世界に触れることで、子どもたちの感性が刺激され、心を豊かに耕す時間となりました。「かもめ」の皆様へ感謝申し上げます。

## つばき

### ひとつのことをやり遂げた先に



日曜日の朝、日本女子相撲の第一人者、今日和(こひより)さんがテレビで紹介されていました。幼い頃から取り組んできた相撲にまっすぐに向き合っている。現在26歳で現役の競技者。「相撲はお金をかけずに楽しめる。自分の体ひとつで、努力したらどんな上になれる。」と述べていました。

それを聞いて、自分が小学生の頃、母親から言われた言葉を思い出しました。

当時の私は、体が小さくて喘息持ちだったこともあり、体を丈夫にするために、母親から何でもやらせられました。特に「走る」ということについては、「走るのにお金がかからないし、体ひとつあればできる。」と口うるさく言われた記憶があります。

小3から小6まで、新聞配達をしていましたが、町内を走りながら朝刊を配り、終わるとそのまま隣の地区まで走り、家に帰ってくるのが日課でした。それが、冬場はクロスカントリースキーに形を変え、今ふり返ると、一年中走らされていたような気がします。

自分から望んだわけではありませんが、ひとつのことをやり続けることで、得るものは少なからずあるものです。私の場合は、走力はさほどつきませんでした。健康な体と走ることに少しの興味をもつことができました。

話は戻りますが、長年、相撲に打ち込んできた今さんは、楽しんで、悔しがったり、仲間と協力し合ったり、海外で相撲に夢中になる子どもたちを見て、「相撲ってすごく心の豊かさに繋がるんだな」と思い、誰でもできるスポーツ競技として、国内外問わず、相撲の普及に取り組みたいという思いを強くしたそうです。

「夢を持って人生を歩むことで、人の役に立てることも増えてきて楽しい」と言います。相撲を続けてきたことが、自身の競技力向上だけでなく、他者の幸せにも繋がっていき、そんな今さんの生き方を、今更ながら見習いたいと思いました。

